



吉子川



令和6年9月5日(木)
 学校だより NO. 31
 中島村立吉子川小学校
 発行責任者 校長 木戸美智子

【めざす児童像】

- あかるく たくましい子ども (体)
- やさしく おもいやりのある子ども (徳)
- めあてをもって がんばる子ども (知)

【よしコッピ】

吉子川小学校
 のあやめの花に
 住む小鳥の妖精

今月のいきいき中島っ子

学びの十か条 (9月)
 家庭学習で定着率アップ
 今日の学びを確実に

◇ 9月4日 全校集会 ～校長講話より～ ◇

8月31日の創立150周年記念行事は、吉子川小学校にとってとても大事なイベントでした。すばらしい代表挨拶をしてくれた江尻咲さん。200人以上の歌声を堂々と束ねてくれた指揮者 丹内葉那さん、伴奏 水野谷咲さん。それを仲間として応援し、支えてくれた高学年の皆さん。くす玉を作ってくれた5・6年生の皆さん。上手に割ってくれた丹内柚莉愛さん、廣澤笑瑠奈さん。記念品を代表でもらってくれた鈴木紫温さん、熊倉健仁さん、長谷川菜々さん。そして、吉子川小学校のキャラクターに応募してくれた皆さん、応募はしなかったけど考えてくれた皆さん。「よしコッピ」を誕生させてくれた加藤萌陽さん。長いお話の時間も、お話している人の気持ちを考えて最後までしっかり聞いてくれた皆さん。明るい笑顔とあいづちで会を盛り上げてくれた全校生。当日お休みした子も、火曜日からまた元気に学校に来て、吉子川小学校をさらによりよい学校にしようとして進んで考え行動してくれている。役割がある誰かだけが頑張ったのではなく、みんなの気持ちが一つになったことと、これを節目に、また、未来に向かって新たに自分から進んで行動していることがうれしいのです。本当にありがとう。一人一人それぞれによいところがあって、それを生かし合ったからあのような素晴らしい会になったのです。だから、新聞記者の方も感動して、あんなに大きな記事にしてくれました。昨日は加藤村長からもお褒めの電話がありました。自分には役割がなかったとか、自分にはよいところがないとか、悲しいことは決して言わないでほしい。名前を出して褒められた人を妬んだりひがんだりしないで欲しい。ちゃんと自分のことも仲間のことも褒めてあげられる子になってほしいのです。誰かだけがよいわけではありません。この吉子川小学校というチームが最高なのです。



さて、2学期のスタートにあたり、皆さんに詩を紹介します。聞いたことのある人もいることと思います。蒔田晋治さんという学校の先生が書いた詩です。校長先生はこんな教室、学校にしたい、と思っています。長い詩なので、はじめの部分だけ、ちょっと聞いてください。

『教室はまちがうところだ』蒔田 晋治

教室はまちがうところだ みんなどしどし手をあげて
 まちがった意見を 言おうじゃないか まちがった答えを 言おうじゃないか
 まちがうことをおそれちゃいけない まちがったものをわらっちゃいけない
 まちがった意見を まちがった答えを ああじゃあないか こうじゃあないかと
 みんなで出しあい 言いあうなかで ほんとのものを見つけていくのだ
 そうしてみんなで伸びていくのだ…



まだまだ始まったばかりの2学期。皆さんは創立150周年という記念すべき年に、吉子川小学校に通う奇跡の子どもたち。ほんのちょっとの勇気と、たくさんの優しさで、「ほんとのもの」を見つけていきましょう。みんながもっているよいところをどんどんどん表に出して、みんながもっているほんとのものにどんどんどん磨きをかけて、もっともっと楽しい学校にしていましょう。

授業参観・環境整備・記念行事へのご理解とご協力に心より感謝申し上げます!